

# かえで story 第4号 2017.5.10

## 実行委員長, 副委員長の晴衣装

かえで祭の運営を担当し、本番も校舎を駆け巡る実行委員は、その証である法被を着ています。法被の色は役職によって異なります。ありとあらゆる実務的な仕事をこなす部員たちはオレンジ色、各部をまとめ上げる部長たちは青色の法被を着て仕事に取り組んでいます。

では、総勢 200人を超える生徒実行委員会のトップ、“かえで祭実行委員長”の法被の色は？

それは…黄金です!! 金色に輝き背中にはかえでをモチーフにしたマークと“実行委員長”の文字が入った特別な法被を着て、全体の士気を高めます。この法被は、代々実行委員長によって受け継がれ、今回は6年次の石原優之介実行委員長が着ることになりました。

さらに今年度は、副実行委員長のため新たに銀色の特注法被が作られることになり、経理部長をはじめとする、中でも手先の器用な部員が作成を担当しました。この法被も新たな伝統として今後受け継がれていくことと思います。

ですが、この法被を着るのは開祭式と閉祭式の式中の予定のため、残念ながら一般公開中に目にする機会は今のところないようです。最後にそんな法被の貴重な写真をお届けしたいと思います。

